

矢板市地域公共交通網形成計画 概要版

計画策定の趣旨

高齢者の増加等に伴い、公共交通の必要性がさらに高まることが予想されるため、公共交通空白地域の解消・利便性の向上を目的に、公共交通の現状と課題分析を行い、将来にわたって効果的かつ効率的な公共交通網を形成するために策定します。

計画区域
市内全域
計画期間
令和2年度～6年度(5年間)

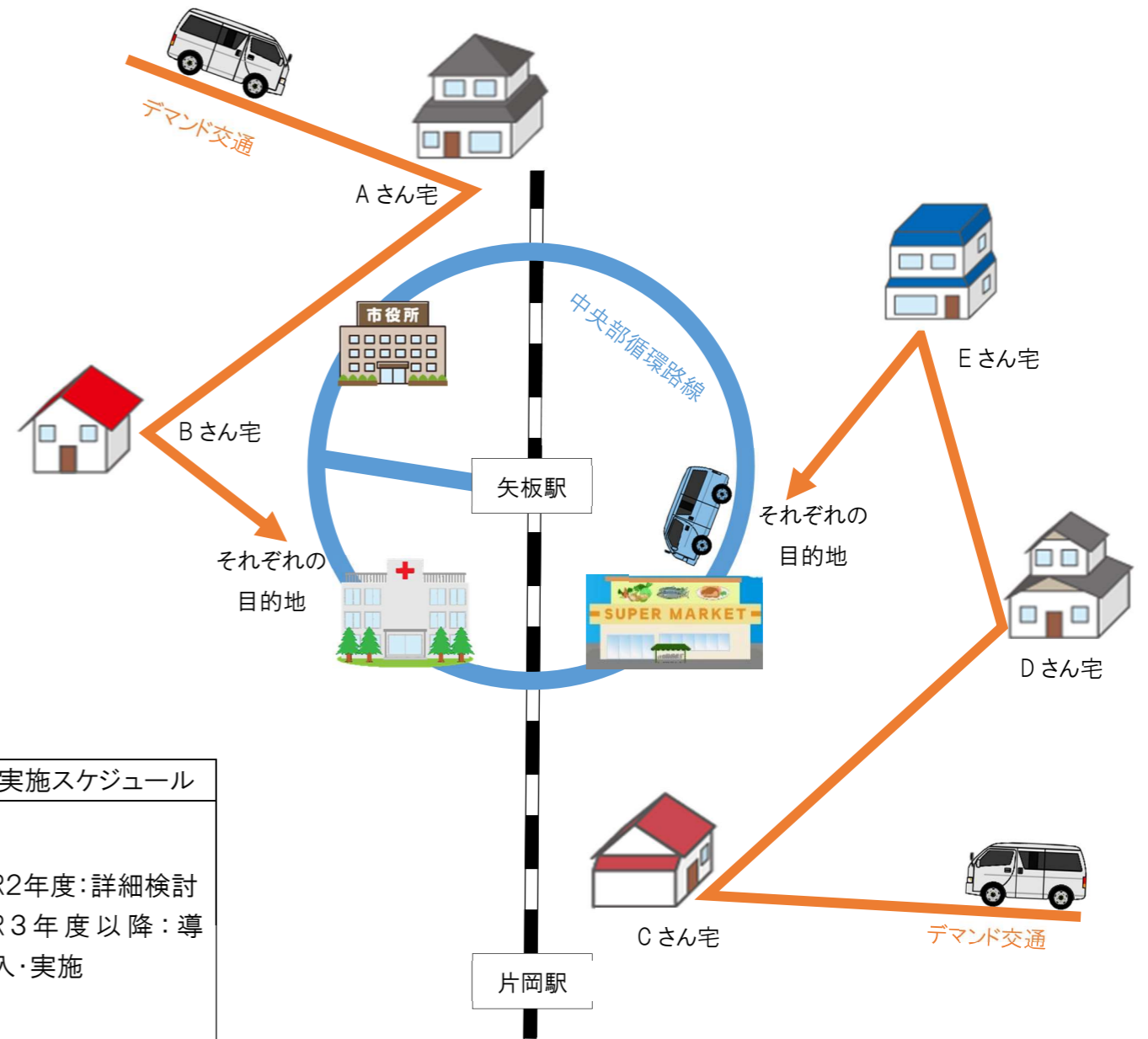
【公共交通の現状】

- ・公共交通サービスの人口カバー率が74.6%と低い水準
- ・市営バスの路線が通っていない地域があるほか、バス停までが遠く、本数も少ない
- ・公共交通の利用目的は、通院と買い物で75%を占める
- ・高齢者等の交通弱者の増加
- ・市営バスの停留所や運行ルート等がわかりにくい
- ・財政負担が増加傾向にある

基本理念 **便利でわかりやすく、利用しやすい公共交通体系の構築**

基本方針と具体的な施策

課題	基本的な方針	具体的な施策	実施スケジュール
(1)公共交通空白地域の解消	【方針1】公共交通空白地域の解消	(1)デマンド方式の公共交通導入 事前予約制で、それぞれの出発点から目的地まで運行する乗り合いの公共交通を導入します。	R2年度:詳細検討 R3年度以降:導入・実施
(2)病院や商業施設への移動利便性の向上	【方針2】市街地の移動利便性向上	(2)中央部循環路線の充実 矢板駅周辺の公共施設や医療施設、商業施設を周遊する交通を充実します。	R2年度以降:随時実施
(3)利用促進のためのわかりやすく利用しやすい公共交通体系	【方針3】わかりやすく、利用しやすい公共交通の確立	(3)利用者にわかりやすい公共交通の確立 運行形態や運行エリアなど、利用者の年代等に配慮したわかりやすい情報提供を行います。 (4)利用しやすい公共交通の確立 バリアフリーへの対応、多言語化など誰もが利用しやすい公共交通を目指します。	
(4)財政負担の最小化	【方針4】持続可能な公共交通体系の構築	(5)利用者増加策の実施 乗車体験会や公共交通に関するパンフレット等の作成・配布などを行います。	R2年度:詳細検討 R3年度以降:導入・実施
		(6)広告収入のための仕組みづくり 公共交通の車内外やバス停等に掲示用スペースを設置し、広告収入につなげます。	



矢板市のデマンド交通と中央部循環路線のイメージ

評価指標と目標値(令和6年度までに)

- 公共交通の利用者数(1日当たり)
現状:74.5人 ⇒ **目標** 80人以上
- 広告等掲示申込件数
現状:0件 ⇒ **目標** 10件以上